

2020年3月2日

住友電装株式会社

経済産業省が“優良な健康経営を実践している法人”を顕彰する

「健康経営優良法人 2020」に認定

住友電装株式会社（本社：三重県四日市市、社長：川井 文義、以下 住友電装）は、この度、経済産業省と日本健康会議が共同で顕彰する「健康経営優良法人 2020（大規模法人）」に認定されたのでお知らせいたします。

「健康経営」とは、従業員の健康管理を経営的な視点で考え、戦略的に実践する取り組みを指します。健康経営優良法人認定制度は、従業員の健康保持・増進において特に優良な取り組みを実践している企業や法人を経済産業省と日本健康会議共同で顕彰する制度です。

住友電装は、「トップダウンによる健康経営推進体制」や「ストレスチェックにおける職場環境改善に向けた取り組み」などが評価され、「健康経営優良法人 2020（大規模法人）」の認定を受けることができました。



住友電装の具体的な取り組み

住友電装は社員一人ひとりの健康は活気ある企業の源そのものと考え、以下の健康増進活動を行っています。

＜重点的に取り組んでいる活動＞

- ・個人：一人ひとりがヘルスリテラシーを向上させ、自分自身で行動できるような企画、環境を提供する
- ・組織：ストレスチェックにおける職場環境改善を実施し、健全な職場づくりを進める
- ・体制：健康診断項目の統一等を進めることによって、健康推進活動の土台を整備する

<取り組み事例>

①健康づくり対策

- ・生活習慣病予防のキッカケとなる「ウォーキングイベント」を実施
- ・“笑顔で楽しく”をモットーに、運動習慣づくりを促進する健康づくりセミナーを開催



②受動喫煙・禁煙対策

- ・就業労時間内の禁煙を実施
- ・毎月 22 日を「受動喫煙防止の日」と定め、受動喫煙防止の啓発活動を推進
- ・毎年 5 月 31 日「世界禁煙デー」には、禁煙サポートも含めたイベントを開催



住友電装は、今後も積極的な健康づくりを支援し、社員が心身ともに健康な状態で働くことができるよう健康の保持増進に努め、「世界で一番働きがいのある、活力ある会社」をめざします。

以上

—ご参考—

◆健康経営優良法人認定制度について[経済産業省]

https://www.meti.go.jp/policy/mono_info_service/healthcare/kenkoukeiei_yuryouhouzin.html

◆住友電装について

住友電装は1917年に創業し、クルマの中のさまざまな機器をつなぎ、電力や信号をすみずみまで伝える「ワイヤーハーネス」を製造する世界トップクラスの企業です。時代のニーズを先取りする研究開発をベースに、カーメーカーをはじめとするお客様の期待に応えて、自動車用ワイヤーハーネスのほか、エレクトロニクス製品、ハイブリッド車・電気自動車用製品などの幅広い製品群を展開しています。これまでに培ってきた「つなげる、つながる」技術を活かしてもっと安全に、もっと便利に、もっと環境にやさしい次世代のモビリティ社会に貢献していきます。